

MUJI 無印良品 取扱説明書

デジタルタイマー時計 (型番:DKC-52)

この製品の特長

時刻/タイマー/カレンダーを同時に表示するデジタル時計です。メインの表示を切り替えて使うことができます。



液晶について

- 見る方向によって見えにくくなりムラに見えることがあります。
- 温度が低い環境(0℃未満)で使用すると液晶表示の反応が遅くなる場合があります。
- 温度が高い環境(40℃以上)で使用すると、液晶パネルが黒くなり判読出来ないことがあります。
- 静電気やパネル面に圧力が加わると、黒い線やしみなどが発生することがありますが、故障ではありません。しばらく放置すると元に戻ります。
- 液晶表示は5年を超えると表示が薄くなる事があります。

保証書

保証書

製品名	デジタルタイマー時計
型番	DKC-52
お買い上げ日	年 月 日
お客様	お名前 様 ご住所 電話 ()
販売店	保証書貼付用シート貼付欄

(保証期間)お買い上げ日より1年以内 日本国内のみ有効です。
This warranty is valid only in Japan.

●保証書貼付用シートが未貼り付けの場合は無効です。
※ネットストアご購入の場合、お買い上げ日シール(店舗印)の同梱はございません。
お買い上げ日は、ネットストアマイページ「注文履歴」にてご確認をお願い申し上げます。

- お買い上げいただきましてありがとうございます。
- ご使用前に、この取扱説明書と保証書をよくお読みの上、正しくお使いください。
- お読みいただいた後は、いつでも見られるところに大切に保管してください。

製品仕様

使用電池	ボタン型リチウム電池CR2032(3V)
時間精度	クォーツ方式/平均月差 ±30秒以内(気温5℃~35℃)
液晶表示	時計:12時間(AM・PM表示)/24時間 カレンダー タイマー:カウントアップ/カウントダウン 識別マーク:時刻/タイマー/カレンダー
カレンダー	2015年1月1日~2049年12月31日までの月未 うるう年の修正が不要なオートカレンダー
タイマー	最長99分59秒(カウントダウン/カウントアップ)
電池寿命	約1年間(タイマーを1日2回使用した場合)
アラーム	電子音/オートストップ約2分間
使用温湿度環境	-10℃~50℃、85%RH以下(結露しないこと)
液晶表示可読温度	0℃~40℃
サイズ	約 幅80× 奥行き20× 高さ36mm
質量	約50g(電池含む)
主な材質	(ケース/スイッチ)ABS樹脂 (レンズ)アクリル樹脂 (磁石)ラバーマグネット

■製品仕様は改良のため、予告無く変更する場合があります。
■付属の電池は工場出荷時に入れていますので、電池寿命が短い場合があります。
付属品
ボタン型リチウム電池CR2032.....1個 [保証書付]
取扱説明書(本書).....1部

保証について

通常のお取り扱いで万一機械故障が生じた場合、保証期間中に下記までこの保証書を添えてお申し出ください。修理・調整いたします。ただし次回は保証期間内でも有料修理になりますのでご了承ください。(ご使用の際はこの取扱説明書を必ずお読みください。)

- 1) 誤ったご使用による故障、またはお取り扱いの不注意による故障
- 2) 不適当な修理や改造による故障
- 3) 火災または天災による故障
- 4) ご使用中に生じる外観上の変化(ケースの傷など)
- 5) 本保証書のご提示がない場合(電池は保証の対象外です)

- この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。この保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありません。
- 修理の際、外観の違う代替品を使用させていただくこともありますのでご了承ください。
- 保証期間経過後の修理は、お買い上げ販売店、または良品計画「お客様相談室」にご連絡ください。
- お客様にご記入いただいた保証書(個人情報)は、修理・サービスに利用させていただきます場合がございます。

販売元 株式会社 良品計画 〒170-8424 東京都豊島区東池袋4-26-3
お客様相談室 0120-14-6404

製造管理元 株式会社ジーコム

安全上のご注意

ご使用前にこの「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。お読みになったあとはいつでも見られる所に必ず保存してください。

■本機で使用する電池は、リチウム、有機溶媒など可燃性物質を内蔵しており、使用

けがや機器故障の原因となるので次のことを必ず守ってください。

- ⚠️ **警告** 誤った取扱をしたときに、死亡や重傷などに結びつく可能性があるもの。
- 🚫 **修理や分解・改造を行わない**
異常動作や故障の原因になります。
- 🚫 **器具のすき間にピンや針などの金属等や異物を差し込まない**
本体が変形したり故障の原因、火災・感電の原因となります。
- 🚫 **火気の近くや引火性のモノの近くで使用しないでください。**
調理台や加湿器など、油や煙・蒸気が直接かかる場所でのご使用はお止めください。火災や故障の原因になります。
- 🚫 **本機は防水・防塵仕様ではありません。水につけたり水をかけないでください。**
濡れた手でスイッチを押したり、電池交換を行わないでください。屋外およびほこりが多い場所、風呂場やシャワー室など水がかかる場所や湿度が高い場所、加湿器の蒸気が直接あたる所でのご使用はお止めください。故障の原因になります。
- 🚫 **液晶パネルが破損した場合**
液晶液が目に入った場合は、失明や炎症になる恐れがあります。すぐにきれいな水で洗い、医師の治療を受けてください。皮膚や衣類に付着した場合は直ちに水で洗い流してください。
- 🚫 **磁気式カードや医療機器、アナログ時計など磁気の影響を受けやすいものに近づけない**
データの消失、誤動作、故障の原因になります。
・データーカードなどの医療機器の場合、人命にかかわる場合があります。

⚠️ **注意** 傷害を負う可能性や物的損害が生じる恐れがあるもの。

- ❗ **強い衝撃を与えたり、投げつけたりしないでください。**
電池の液漏れや、故障の原因になります。
- ❗ **振動のある場所や不安定な場所に設置しない**
落下や転倒により、ケガをしたり器物を破損する恐れがあります。
- ❗ **マグネットを取り付けたまま動かさない**
取り付け面に傷が付く恐れがあります。
- ❗ **トースターや電子レンジ、電磁調理器、レンジフードに近づけたり設置しない**
熱や電磁波、油分、蒸気などで変形・誤動作・故障の原因になります。

⚠️ **注意** 下記のような場所でのご使用・保管・放置は止めください。

- 故障や発火、誤動作、精度不良、変形、変質、劣化の原因となるだけでなく製品及び電池の寿命が短くなる恐れがあります。
- 直接日光が長時間当たる場所や自動車車内での放置。
- サウナ、岩盤浴など、長時間高温多湿になる場所。
- 調理場など多くの油を使用する場所。
- 温泉でのご使用。ガスの発生する場所。
- 暖房器具等の熱風や火気に近い所。
- 大型テレビやオーディオ、OA機器など強い磁器を発生させる機器のそば。

使用済み電池の処理について

- 交換したボタン電池は、お住まいの地域の自治体の指定に従って廃棄してください。
- 電池を捨てるときは、ショートするのを防ぐため、(+)極と(-)極をセロハンテープで絶縁してから廃棄してください。

お手入れ

- 柔らかい布等でからぶきしてください。
 - 本体外側等の汚れが目立つ時は、水に薄めた中性洗剤を少量含ませた布で汚れをふき取ってください。
- ※シンナー・ベンジン・アルコール・クレンザー・スプレー式クリーナーなどは絶対に使用しないでください。本体を傷つけたり、損傷する恐れがあります。

- ⚠️ 記号は、危険/警告/注意を促す内容があることを告げるものです。
- 🚫 記号は、禁止の行為であることを告げるものです。
- ❗ 記号は、必ず守るべきこと(強制)を告げるものです。

【ボタン電池の取り扱いについて】

⚠️ **危険** 死亡または重傷を負う差し迫った危険の発生が想定されるもの。

- ❗ **電池は小さなお子様の手が届くところに置かない**
ボタン電池を飲み込むと二時間以内に化学やけど、粘膜組織の貫通などを引き起こし、最悪の場合は死に至ることもあります。
ボタン電池は絶対に乳幼児の手が届くところに置かないでください。
万一飲み込んだときは、直ちに医師に連絡して指示を受けてください。
- ❗ **誤飲の恐れがあるので、幼児の手が届くところに置かない**
電池、電池ふたなどを口に含んだり誤飲する恐れがあります。
万一飲み込んだときは、直ちに医師の治療を受けてください。

⚠️ **警告** 誤った取扱をしたときに、死亡や重傷などに結びつく可能性があるもの。

- ❗ **電池の液が目に入ったときは、目に障害を与えるおそれがあります。**
こすらずにすぐに水道水などのきれいな水で十分に洗い、医師の治療を受けてください。
- 🚫 **この電池は絶対に充電しないでください。**
充電すると電池を漏液、発熱、破裂、発火させるおそれがあります。
- 🚫 **電池を火の中に入れて、加熱・分解しないでください。**
絶縁物などを損傷させ、電池を漏液、発熱、破裂、発火させるおそれがあります。
- 🚫 **電池の(+)と(-)を逆にして使用しないでください。**
充電やショートなどで異常反応を起こしたり、電池を漏液、発熱、破裂、発火させるおそれがあります。
- ❗ **電池の(+)と(-)を針金などで接続したり、また、金属製のネックレスやヘアピンなどと一緒に持ち運んだり、保管しないでください。**
電池がショート状態となり、過大電流が流れたりして電池を漏液、発熱、破裂、発火させるおそれがあります。
- ❗ **この電池に漏液や異質があるとき**
漏れた電解液に引火するおそれがありますので、すぐに火気から遠ざけてください。
- ❗ **電池に直接はんだ付けをしないでください。**
熱により絶縁物などを損傷させたりして、電池を漏液、発熱、破裂、発火させるおそれがあります。
- ❗ **この電池を保管する場合および廃棄する場合、テープなどで端子部を絶縁してください。**
電池を他の電池や金属製のものと混ぜたりすると、電池がショートして漏液、発熱、破裂、発火するおそれがあります。
- 🚫 **電池がセロテープなどで皮膚に固着しないでください。**
皮膚に障害を起こすおそれがあります。

⚠️ **注意** 傷害を負う可能性や物的損害が生じる恐れがあるもの。

- ❗ **長期間使わない時は電池を抜いてください。**
電池の液漏れや故障の原因になります。
- ❗ **電池寿命になった電池は速やかに交換してください。**
付属電池は工場出荷時に入っており、製品仕様より短い時間で電池切れになる場合があります。
- ❗ **間違えて使用するときや故障の原因になるのでお止めください。**
●使った電池は器具から取り外してください。
●取り外した電池は速やかに処分。または幼児の手が届かない場所に保管してください。
●電池を落下させたり、強い衝撃を与えたり、変形させたりしないでください。
●電池は直射日光の強い所や炎下の車内など高温・高湿の場所を避けて使用、保管してください。
●電池を水などで濡らさないでください。電池を発熱させるおそれがあります。
●電池の使用、保管時に発熱、変形など今までと異なることに気づいたときは、使用しないでください。

故障かな?と思ったら

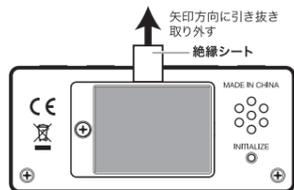
修理を依頼される前に下記の点検をお願いいたします。

症状	原因	処置
・表示が出ない ・時刻セットできない	・電池が消耗している。 ・電池が入っていない。 ・電池の向きが逆さまになっている。	・新しい電池に交換してください。 ・電池を入れてください。 ・正しい位置に電池を入れ直してください。
・表示が薄い	・電池が消耗している。 ・0℃未満で使用している。	・新しい電池に交換してください。 ・0~40℃の温度で使用してください。
・液晶の表示が乱れる ・液晶の表示が異常	・静電気の影響が考えられます。	・電池を入れ直すか、初期化ボタンを押してください。
・カチカチ音がする ・「ピー」という音が鳴る ・表示に「8888」や「F」が現れ点滅する	・電池が消耗している。	・新しい電池に交換してください。

1.ご使用方法

絶縁シートのとり外し

本体裏側の絶縁シートを取り外して下さい。
表示が全点灯して約1秒後に「ピー」と鳴り、西暦年「2015」が点滅する表示に切替わります。点滅表示は約20秒間続きますのでその間に「時刻セット(調整)」に従ってカレンダー、時刻をセットしてください。



本機はボタン電池 (CR2032) を1個使用します。
※付属電池は工場出荷時に入っており、製品仕様より短い時間で電池切れになる場合があります。

時刻セット (調整)

以下の手順でカレンダー、時刻セットを行ってください。

- 「年」セット
20 15
- 「月」セット
- 1 - 1
- 「日」セット
12 - 1 -
- 「時」セット
12:00 25
- 「分」セット
12:00 37
- 「12時間制または24時間制」セット
「+」「-」ボタンを押すたびに12Hと24Hが切り替わります。
※12時間制表示はAM/PMを表示します。



時刻セットの自動解除
時刻セット中、20秒間操作をしないと、自動的に時刻セットが解除されて、時刻表示に変わります。その場合は、「MODE」ボタンを3秒間押し続けると「ピー」と鳴り、表示が西暦年が変わります。はじめから時刻セットをやり直してください。

秒設定について
「分」セット時、「+」「-」ボタンを押すたびに秒が00秒にリセットされます。

例) 2015年12月25日、午前12時38分
12時間制表示、DST設定: OFF

- 「サマータイム(DST)」セット
「+」「-」ボタンを押すたびにOFFとONが切り替わります。
※サマータイムをONにすると、先に合わせた時刻より1時間時刻が戻ります。

電池の交換

以下の手順で交換して下さい。

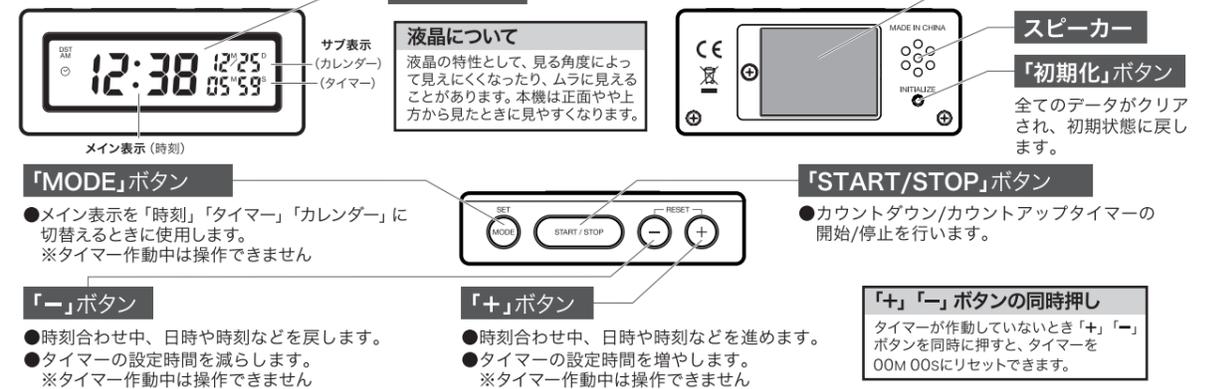
- ゆるめる (反時計回り)
 - しめる (時計回り)
 - 電池の取り出し方
●電池が取り出すときは、この部分に絶縁性の細い棒状のものを使って取り出してください。金属製のもの「ヘアピン等」は使えません。
- ※指定以外の電池は使用しないでください。

静電気による影響について
静電気によって液晶表示が乱れたり、異常な動作をする場合があります。そのような場合は「初期化」ボタンを先の細い棒状のもので押してください。

⚠️ **危険** 小さなお子様の手の届くところに置かない
●電池、電池ふた、ネジなどの部品を口に含んだり誤飲する恐れがあります。

- ①ドライバー(サイズPH1,1番)でネジを緩めて電池ふたを取り外します。
- ②付属のボタン電池 (CR2032) 1個を電池の (+) 面を上にして電池が水平になるように、収納部にしっかりと押し込んでください。(電池を正しく挿入すると「ピー」という音が鳴ります。)
- ③電池ふたを元の位置に取り付け、しっかりとネジをしめます。
- ④「初期化」ボタンを先の細い棒状のもので押してください。
- ⑤表示が全点灯して約1秒後に「ピー」と鳴り、西暦年「2015」が点滅する表示に切替わります。に従ってカレンダー、時刻をセットしてください。

各部の名称と役割



2.タイマーの使い方

＜カウントアップタイマー＞

- ①カウントアップタイマーはタイマーが00m 00sになっているときのみ使用できます。00m 00s以外の時間を表示している場合は「+」「-」ボタンを同時に約2秒間押し続けてください。「ピー」という音とともにタイマーが00m 00sにリセットされます。
- ②「START/STOP」ボタンを押すと「ピッ」という音が鳴り、カウントアップが始まります。
- ③カウントアップ中に「START/STOP」ボタンを押すと「ピッ」という音が鳴り、タイマーが停止します。再度「START/STOP」ボタンを押すと再度「ピッ」という音が鳴り、表示している時間からカウントアップが再開します。
- ④タイマーが99m 59sになるとタイマーは停止します。

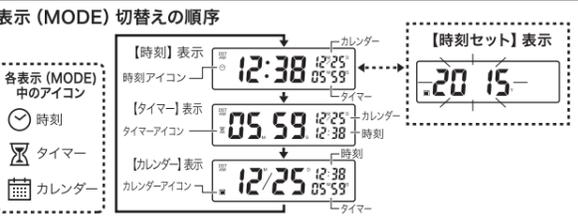
カウントアップの解除について

カウントアップの一時停止中に「+」「-」ボタンでタイマー時間を変更すると、カウントアップ機能は解除されます。この状態で再度「START/STOP」ボタンを押すと表示している時間からカウントアップが始まります。

3.表示 (MODE) 切替え/時刻調整するとき

タイマーが作動していないときに「MODE」ボタンを押すと表示が下図のように切替わります。時刻調整を行うには以下の操作を行ってください。

- ①液晶表示を時刻表示にします。タイマー、カレンダー表示の場合は「MODE」ボタンを押して、時刻表示にしてください。
- ②「MODE」ボタンを3秒間押し続けると「ピー」と鳴り、表示が西暦年が変わって点滅し、時刻セット表示になります。
- ③「時刻セット(調整)」の手順を参考に時刻調整を行ってください。



＜カウントダウンタイマー＞

- ①「+」「-」ボタンを押してタイマーを設定します。「+」「-」ボタンを押し続けると約2秒後に30秒単位で早送り、早戻しになり、さらに約5秒間押し続けると1分単位の早送り、早戻しとなります。タイマーを00m 00sに戻すときは「+」「-」ボタンを同時に約2秒間押し、「ピー」という音とともに00m 00sにリセットされます。
- ②「START/STOP」ボタンを押すと「ピッ」という音が鳴り、設定した時間からカウントダウンが始まります。
- ③カウントダウン中に「START/STOP」ボタンを押すと「ピッ」という音が鳴り、タイマーが停止します。再度「START/STOP」ボタンを押すと、再度「ピッ」という音が鳴り、表示している時間からカウントダウンが再開します。
- ④タイマーが00m 00sになるとアラームが鳴ります。アラームが鳴っている間に「+」「-」「START/STOP」いずれかのボタンを押すとアラームは停止し、設定したタイマーの時間表示に戻ります。
※アラームを停止しなかった場合は約2分後に自動で停止し、設定したタイマーの時間表示に戻ります。

リピート機能について

カウントダウン機能がアラームが鳴っている間に「+」「-」「START/STOP」いずれかのボタンを押してアラームを停止した場合、自動的に設定したタイマーの時間表示に戻る機能です。タイマーを繰り返し同じ時間で使用するときに便利な機能です。

4.設置方法

取り付けるときは、設置面とマグネット表面の汚れを取り除いてから密着させてください。

- 設置面とマグネットの密着が悪いと保持力が低下して、製品が落下することがあります。(表面に凹凸がある場所には設置できません)
- 冷蔵庫や扉などの可動部に取り付けて使用する場合はゆっくりと扉の開閉を行ってください。勢いよく開閉すると開閉時の振動、衝撃により製品が落下することがあります。
- レンジフードなど高温になる可能性がある設置面への取り付けはおやめください。マグネットの磁力が低下し、製品が落下することがあります。